

第19回 北大人文学カフェ

カギは現場にあり

— エスノグラフィーの可能性 —



小田 博志さん
北海道大学大学院文学研究科
歴史文化論講座教授（人類学）

2016年12月10日（土）

15:00～16:30（14:30 開場）

会場

紀伊國屋書店札幌本店
sapporo55 ビル インナーガーデン

定員 約100名 参加費無料、事前予約不要。
当日直接会場にお越しください。

主催 北海道大学大学院文学研究科・人文学カフェ実行委員会
連絡先 北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

TEL : 011-706-4083 E-mail : kenkyu@let.hokudai.ac.jp

<http://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>

カギは現場にあり

—— エスノグラフィーの可能性 ——



「エスノグラフィー」ということを耳にしたことはありますか？研究と現場とをつなぐ方法論として、近年注目を集めているのが「エスノグラフィー」です。研究者が身をもって現場に入り込み、内側からその世界を理解します。

もともとは文化人類学の分野で発展してきましたが、最近では社会学、教育学など多様な研究領域に用いられるだけでなく、ビジネスやマーケティング、行政、医療・福祉、教育、防災などの多様なシーンで応用されています。なぜでしょうか。それは、「カギは現場にあり！」だからです。

今回の人文学カフェでは、映画化もされた徳島県上勝町の葉っぱビジネスを事例に、エスノグラフィー論の第一人者でその実践者である小田博志さんに、エスノグラフィーの多様な可能性についてお話していただきます。

「そうだ、葉っぱを売ろう！」というひらめきが上勝町を生まれ変わらせたように、皆さんも、エスノグラフィーを通して、現場の秘密を開くカギを見つけませんか。



■ 話し手のプロフィール

小田 博志（おだ ひろし）さん

北海道大学大学院文学研究科 歴史文化論講座 教授（人類学）

1966年香川県生まれ。大阪大学人間科学部卒。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学。ハイデルベルク大学医学部で博士号取得（Dr. sc. hum.）。2001年4月に北海道大学に教員として赴任。主な著書に、『エスノグラフィー入門〈現場〉を質的研究する』（春秋社、2010年）、『平和の人類学』（関雄二と共編著、法律文化社、2014年）、『質的研究の方法—いのちの〈現場〉を読みとく』（波平恵美子と共著、春秋社、2010年）などがある。

■ 北大人文学カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究科との交流を深めていくことを目指しています。

■ お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

TEL：011-706-4083

E-mail：kenkyu@let.hokudai.ac.jp

人文学カフェウェブサイト

<http://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>